

# 研究会のご案内

公益財団法人政治経済研究所  
現代経済研究室

COVID-19 による緊急事態宣言もようやく解除を迎え、経済活動も徐々に動き始めようとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか。研究会のお知らせです。次回研究会は建部正義さんに「リブラと中央銀行デジタル通貨」と題するご報告をいただきます。

フェイスブックが民間のデジタル通貨「リブラ」の発行構想を発表し、中国が「デジタル人民元」の発行準備を進めるなど、通貨のデジタル化をめぐる動きが活発化しています。

そんな中で、中央銀行が発行するいわゆる中央銀行デジタル通貨(CBDC)に対する関心が国際的に高まっており、今年1月、日本銀行を始め、イングランド銀行、欧州中央銀行(ECB)など7つの中央銀行とBIS(国際決済銀行)が知見を共有するためのワーキンググループを新設しました。

中央銀行デジタル通貨やリブラに関しては、グローバルなキャッシュレス化の進展の中で、利用者の利便の向上、途上国における金融包摂の増進、あるいは金融政策の有効性など、多くの議論があります。研究会ではこれらについて、現状と論点について問題を提起していただき、理解を深めたいと考えています。

なお、場所は「三密」を避けるために、いつも使っている3階の会議室ではなく、1階奥の戦災資料センターの会場を使います。

皆さんの参加をお待ちしています。

## 記

- 一、日時 6月22日(月)午後2:30~5:00
- 一、報告者 建部正義さん(当研究所評議員、中央大学名誉教授)
- 一、テーマ 「リブラと中央銀行デジタル通貨」
- 一、場所 政治経済研究所付属 東京大空襲・戦災資料センター1F会場

2020年5月28日

現代経済研究室 合田 寛